

千葉県立京葉工業高等学校の生徒が市長を表敬訪問します
～建設科の生徒が「人工筋肉型関節サポータ」の発明で特許を取得！～

千葉県立京葉工業高等学校建設科の生徒 3 人が発明した「人工筋肉型関節サポータ」が、特許庁により特許登録されました。

また、本研究は文部科学省・特許庁等が主催の「令和 6 年度パテントコンテスト」において、W I P O（世界知的所有権機関）賞を受賞し、その後の改良を経て特許取得に至りました。

このたび、その報告のため生徒等が市長を表敬訪問しますので、お知らせします。

1 日時

令和 8 年 3 月 2 5 日（水） 1 6 : 0 0 から

2 会場

市役所高層棟 4 階 市長応接室

3 訪問者（5人）

千葉県立京葉工業高等学校

校長	高嶋	聡明	氏
指導教員	森下	広幸	氏
建設科生徒	寺門	優弥	さん（2年生）
	那倉	聖陽	さん（2年生）
	高山	竜之介	さん（2年生）

4 特許取得について

（1）発明名称

人工筋肉型関節サポータ

（2）概要

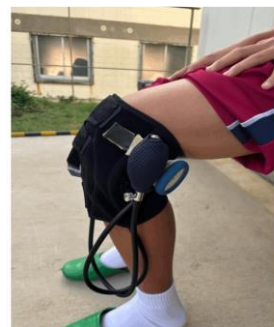
空気圧を利用した人工筋肉を発明し、高齢者や膝関節などに不安を抱える方の日常動作を補助するサポータ

（3）特許登録日

令和 7 年 9 月 1 1 日

（4）受賞

令和 6 年度パテントコンテスト W I P O（世界知的所有権機関）賞受賞



人工筋肉型関節サポータ

<参考>パテントコンテストについて

日本の次世代を担う高校生、高等専門学校生、大学生、専修学校生および大学校生の発想力や創造力を育み、知的財産権制度への理解を深めることを目的として、文部科学省、特許庁、日本弁理士会、独立行政法人工業所有権情報・研修館（INPIT）の主催により、平成14年度から毎年度開催されています。

優秀な発明については優秀賞等として表彰されるとともに、特許庁への出願について支援を受けることができ、特許の取得までの手続きを実体験することができます。

今回、千葉県立京葉工業高等学校の生徒が受賞した「W I P O（世界知的所有権機関）賞」は、パテントコンテストの後援機関であるW I P O（世界知的所有権機関）がS D G sの達成に寄与する高校生の優れた作品に贈る賞です。